

10. 松阪市版エンディングノート「もめんノート」の活用推進にむけて

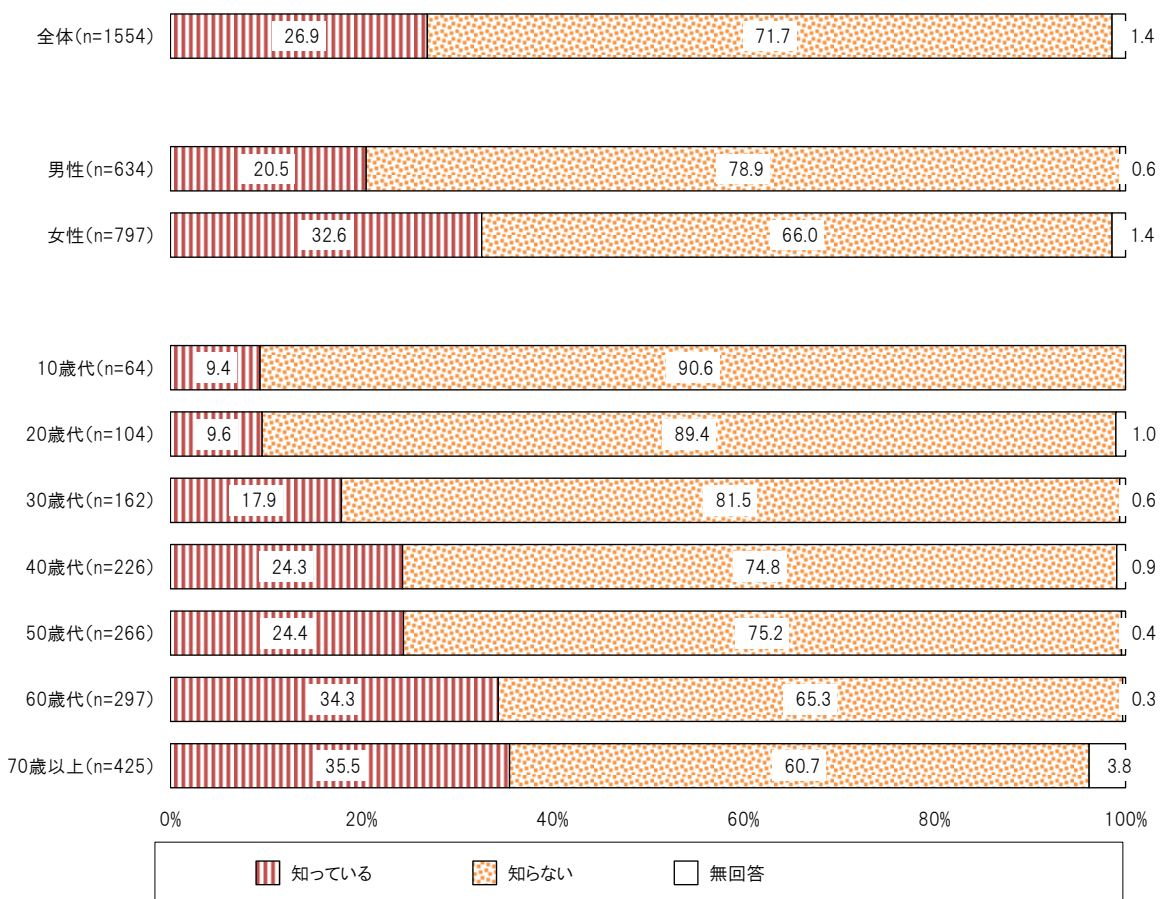
問30 「もめんノート」を知っていますか。（〇は1つだけ）

全体では「知らない」が71.7%で高く、「知っている」が26.9%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合について、女性の方が男性より12.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」の割合について、70歳以上で35.5%と最も高くなっており、ついで60歳代で34.3%となっている。一方、10歳代で9.4%、20歳代で9.6%と低くなっている。

問30 「もめんノート」の認知状況



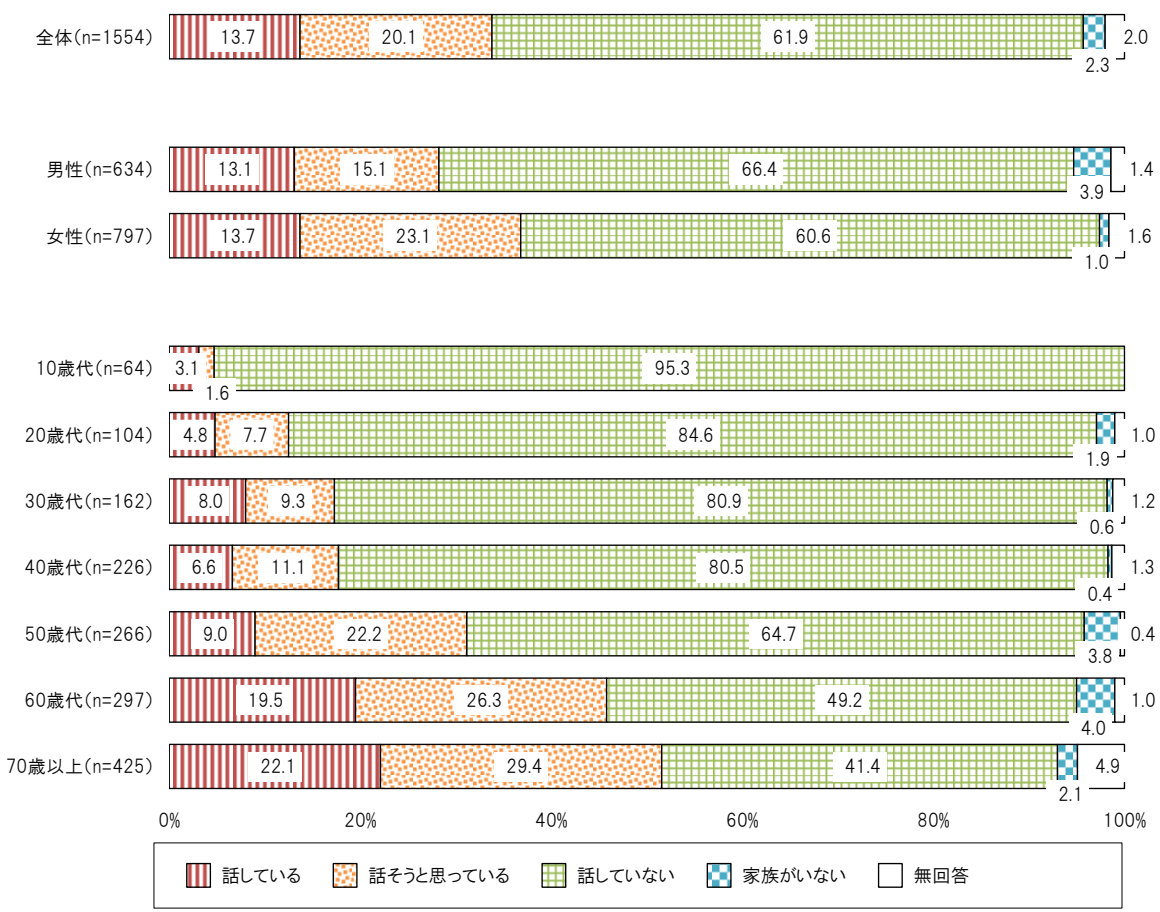
問 31 終末期の医療や財産の処分について家族と話し合っていますか。（○は1つだけ）

全体では「話していない」が61.9%で最も高く、ついで「話そうと思っている」が20.1%、「話している」が13.7%となっている。

性別にみると、「話そうと思っている」の割合について、女性の方が男性より8.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「話している」、「話そうと思っている」の割合ともに、10歳代で最も低く、70歳以上で最も高くなっている。

問31 終末期の医療や財産の処分について家族と話し合っているか



問 32～問 34 については、問 30 で「1. 知っている」と答えた方におうかがいします。

問 32 「もめんノート」を何で知りましたか。（〇はいくつでも）

「広報まつさか」が 76.1%で最も高く、ついで「その他」が 14.1%、「新聞」が 13.2%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「友人・知人」や「家族」などとなっている。

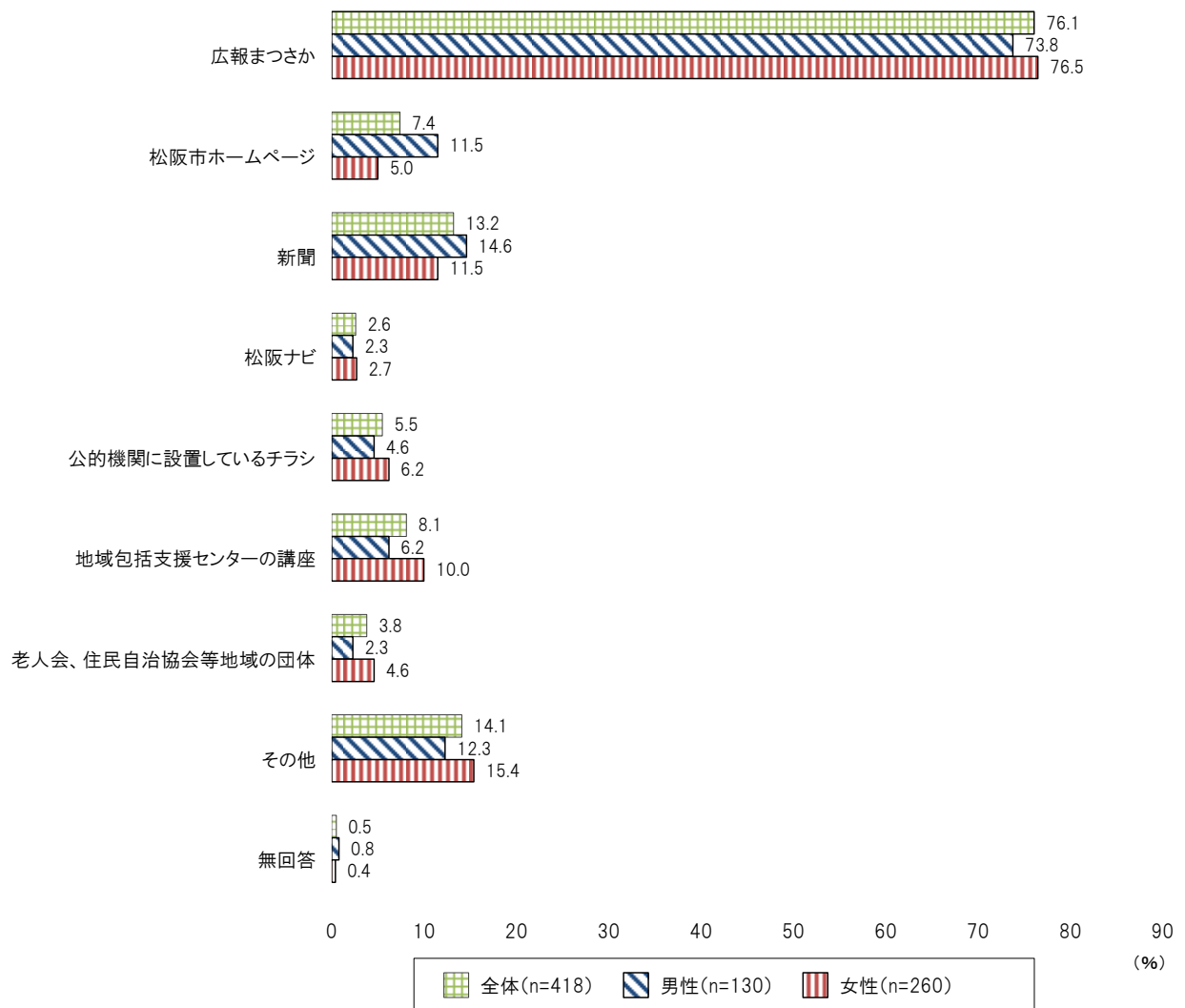
性別にみると、1 番目に高い項目は男女とも同じで、「広報まつさか」であった。男性では「新聞」が 2 番目、「その他」が 3 番目となっており、女性では「その他」が 2 番目、「新聞」が 3 番目となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「松阪市ホームページ」で 6.5 ポイント、「新聞」で 3.1 ポイント男性の方が高く、一方で、「地域包括支援センター」で 3.8 ポイント、「その他」で 3.1 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、10 歳代を除いた年代で「広報まつさか」は 1 番目となっている。3 番目以内に入っている項目をみると、10 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳以上で「新聞」、20 歳代、30 歳代、60 歳代で「松阪市ホームページ」が入っている。

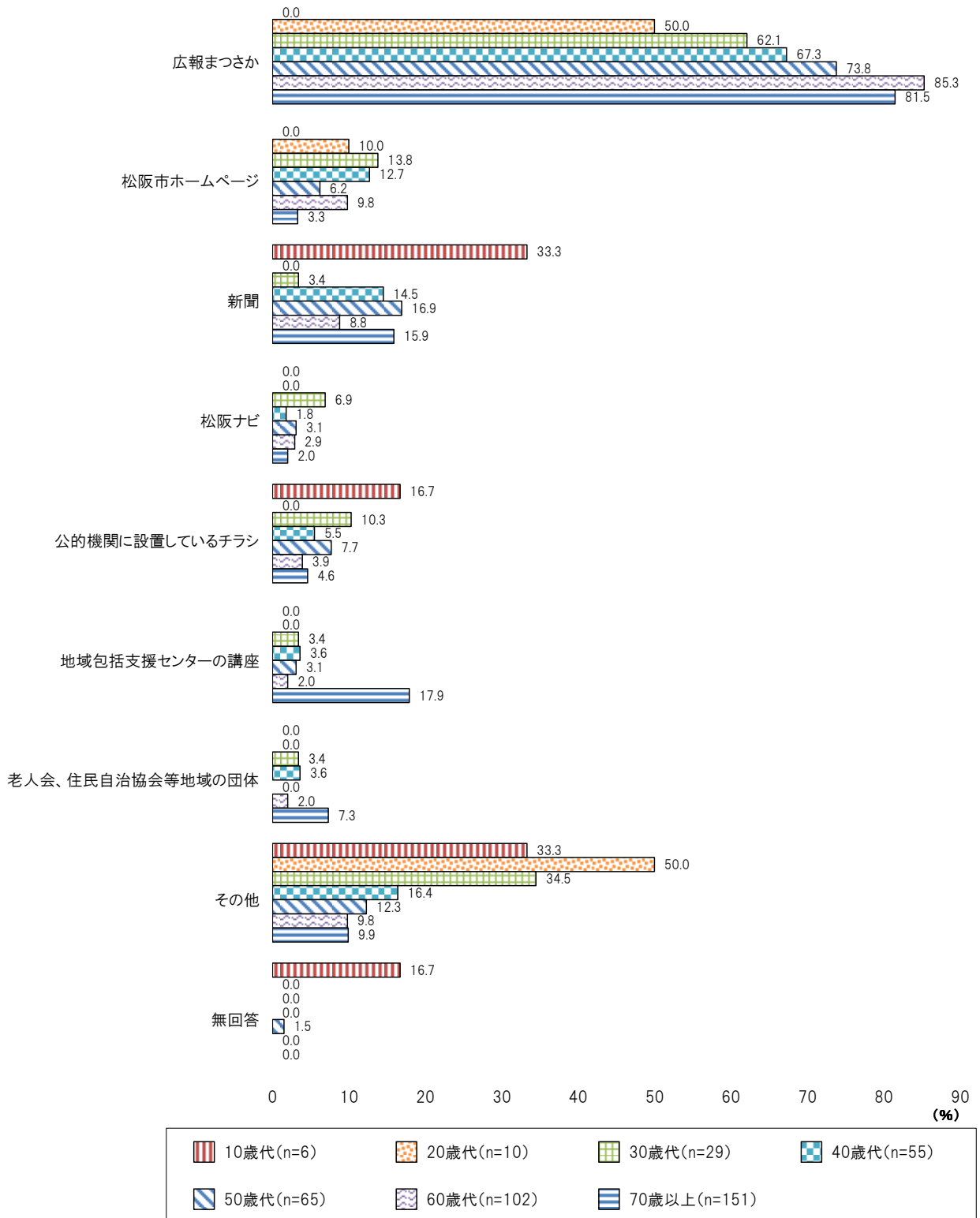
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	新聞	33.3%			公的機関に設置しているチラシ	16.7%
	その他	33.3%				
20 歳代	その他	50.0%			松阪市ホームページ	10.0%
	広報まつさか	50.0%				
30 歳代	広報まつさか	62.1%	その他	34.5%	松阪市ホームページ	13.8%
40 歳代	広報まつさか	67.3%	その他	16.4%	新聞	14.5%
50 歳代	広報まつさか	73.8%	新聞	16.9%	その他	12.3%
60 歳代	広報まつさか	85.3%	その他	9.8%		
			松阪市ホームページ	9.8%		
70 歳以上	広報まつさか	81.5%	地域包括支援センターの講座	17.9%	新聞	15.9%

問32 「もめんノート」を何で知ったか



問32 「もめんノート」を何で知ったか

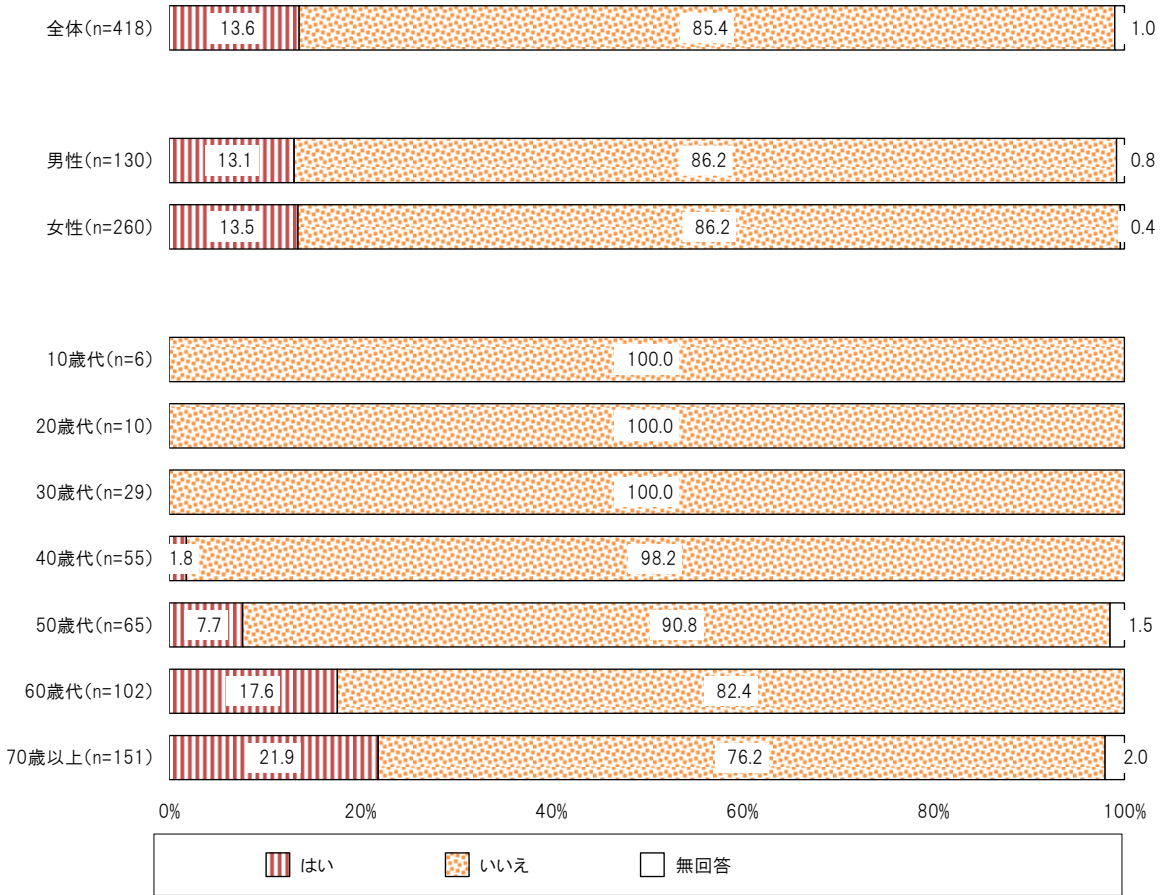


問 33 「もめんノート」を書き始めていますか。(○は1つだけ)

全体では「いいえ」が 85.4%となっており、「はい」が 13.6%となっている。

年代別にみると、「はい」の割合について、10 歳代から 30 歳代までは 0.0%となっており、40 歳代以降は年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。70 歳以上では 21.9%となっている。

問33 「もめんノート」を書き始めているか



問 34 「もめんノート」について気がついたことを教えてください。（ご自由にご記入ください。）

全体では 116 件の意見が寄せられた。年代別では 10 歳代が 3 件、20 歳代が 4 件、30 歳代が 7 件、40 歳代が 19 件、50 歳代が 13 件、60 歳代が 25 件、70 歳以上が 45 件となっている。

<10 歳代から 30 歳代の主な意見>

- 地域で終活の取り組みをしているのは知らなかったが、終活のハードルが下がって良いと思った。
- 両親が生前整理を考え始めているので、持ってなかったら教えてあげたい。
- 知らなかった。知っている人は周りにいないと思う。
- 若い世代には知られていないと思う。
- あまり積極的に話そうという内容になっていない。
- 学校で配布する等周知が必要。
- 一人で記入するだけではなく、家族と共有していくことが大切だと思いました。
- 色（表紙）が暗いので、このノートを見つけてもらえなさそうです。記入欄ページだけでまとめてほしいです。ごちゃごちゃしているイメージです。
- 文字を紙に書く時代は終わっています。

<40 歳代から 50 歳代の主な意見>

- わかりやすいです。
- 父母のために市役所にいただきに行き、見せてもらいましたが、すごく見やすい活字で、書きやすい間隔になっていて、とてもやさしいノートに思えました。私ももう少し年齢を重ねたら書いてみたいと思います。
- もめんノートをまだ手に取ったことがありませんが、終活をする時が来たら、活用したいと思います。
- 見たことがないので見本がどこかにあれば見てみたい。
- 少し書き方が難しい。もっとシンプルでも。
- 相続や終活は高齢者だけのものではない時代にきていると思います。市役所の入口にあってもよいと思います。
- 書き方など教えてもらえるセミナーなどあれば、もっと良いと思います！！
- 以前親からエンディングノートがほしいと言われ、「もめんノート」をきっかけに、渡したのですが、今度は渡されたことに不快感を持ったようでした。自分はいいですが、親世代に渡すのは難しいと実感しました。
- 親に書いてもらいたくても、なかなか言い出しづらい。市（他人）から言ってもらいたい。ノートを配るだけじゃなく。
- もらいに行く足がない人にはどうやって配布するのですか？アクティブな人にしか行政利用は出来ていないと思うので不公平。
- 私の住んでいる地域は、市役所までは距離があります。高齢者や障がいのある方には遠いので、各地域でも配布してもらえるといいと思います。

- もめんノートは無料？
- もめんノートは、遺言書の代わりになるのか？
- 知らない人に伝えていく必要がある。

<60 歳代・70 歳以上の主な意見>

- 自分で作成していたのですが、非常によい物を発行していただき助かりました！
- 書きやすく作られていると感じる。
- 何を思っているのかわかるから良いと思った。
- 実物を見たことがないので分かりませんが、自身の計画や希望を終末にこのノートを通して伝える必要のある方は、家族等に伝えられることはよいと思われる。
- 高齢者のいる家庭へ配布してほしい
- 知ってはいるが配布場所がよく解らない。
- 配布されていても、もらいに行きにくい。
- 「もめんノート」自治会を通して配布して下さい。
- 毎年とは言わないが、2年に1冊ぐらい新しいのがほしい
- もめんノート配布の為に、回覧板にて希望者への手渡しを考えて下さい。
- 記載できる欄が少ない。別のノートに書いた。
- ポケットの厚みがない為落ちやすいです。
- 高齢者になると書くという行為が難しくなり、家族が聞き取り書かなければならない。項目が多く書けない。
- 配布の初期にいただいて、活用し始めていますが、年々変わっていく状況に対応するために、随時更新が必要となってきます。有料でよいので、差し替え可能なものにしていただけると嬉しいです。
- 記入していますが、子どもたちがその場面に直面して、いかに活用してくれるか？
- いざ書こうと思うと色々考えてしまい、後回しになっている。
- ちらっと手に取って見ましたが、まだ書こうという気になりません。
- 書き方の説明会を開くので連絡の為 TEL 番号を書いてきましたが、未だかつて連絡もなく、記入を途中でやめています。開かれないのなら、その旨連絡がほしいなあー
- 家族等の問題であり、行政が予算を使ってまですることではない。